

テーマ

水害避難訓練（引渡し訓練）について

鹿児島県伊佐市立本城小学校

I 学校の概要

本城校区は、県北部伊佐盆地の南に位置している。校区の北部を川内川が流れ過去に多くの河川の氾濫による水害に見舞われており、現在、市の浸水想定区域・土砂災害警戒区域に指定されている。

II これまでの避難訓練の実施状況

- ・ 110 番駆け込み訓練（4月）
- ・ 水害避難訓練（6月）
- ・ 火災想定避難訓練（11月）
- ・ 地震想定（予告なし）避難訓練（2月）



【体育館で保護者に児童を引き渡す様子】

III 水害避難訓練の取組の概要

1 取組の内容、方法等

- (1) 梅雨時期の大雨や台風による風水害を想定した家庭への引渡し訓練
- (2) 東日本大震災の津波被害を想定した避難方法（場所）の確認

2 避難訓練の警戒レベルとねらい

- (1) 緊急レベル（1～3）に応じた訓練内容
 - ア レベル1（集団下校）
 - イ レベル2（学校での待機）
 - ウ レベル3（学校での保護者への引き渡し）
- (2) レベル3を想定した、学校から安全かつ迅速に児童を保護者へ引き渡す訓練

3 避難訓練実施までに工夫したこと

- (1) 体育館で児童一人一人を確実に保護者に引き渡すマニュアルの作成
- (2) 「安心安全メール」による保護者への引渡し時刻や場所等の連絡

4 避難訓練の状況

長雨による河川・水路の氾濫を想定した引渡し訓練の実施

- (1) 開催日 令和3年6月12日
- (2) 参加者 全児童、全職員
- (3) 協力者 保護者



【引き渡し後、駐車場へ移動する様子】

5 取組の成果と課題

(1) 成果

学級連絡網では、日中、全ての家庭への連絡が行き届かない場合が懸念される。そこで、全保護者加入の「安心安全メール」を活用することにより迅速・確実な引渡しが可能となった。

(2) 課題

迎えの車が駐車場や正門の出入り口で混雑することから、ドライブスルー形式で児童を引き渡す方法を計画している。今後は、2方向の出入りが確実に確保できる正門の拡充等により、児童の安心・安全を守っていきたい。